

がんばる農家プラン

鳥取県産（茶豆）の  
ブランド化を目指し  
地域活性化と経営安定を図る



1 はじめに！

当社は3部門（建設コンサルタント・フィットネスジム・農業部門）により事業展開しています。

農業部門への参入は H19 年に北栄町において 7ha の畑を借り受け「丹波の黒豆」栽培でスタートしました。



当初は手探り状態での参入でしたので1年目は散々な結果でした。2年、3年と多くの失敗

成功、経験をつむ事により栽培技術も向上する事ができ、特に3年目には栽培性と需要性の観点から主要作物を「黒豆」から「黒豆の枝豆」へとシフト転換する事により、販路の拡大を図る事ができ成果のある年となりました。

H23 年にはチャレンジプランでの認定を受け、異常気象でのリスクの分散を考え、東部地区での展開を取り組みました東部地区で圃場の確保が出来ずに終わりました。

H26 年には主要作物を「黒豆の枝豆」から「茶豆の枝豆」にシフトするとともに、1年間の工程（耕起・堆肥・播種・防虫・カルチ・収穫・出荷）をそれぞれ事細かく見直し、作業場の改善（配置転換）等を行い売上げ収穫量ともに大きく UP させる事ができました。

「茶豆の枝豆」は風味が良く美味しさは格別ですが西日本では生産者が少なく、認知度が低いのが現状です。市場では取引量が少ないこともあり高値で取引されています。

現在栽培面積は約 14ha ですが今後多方面にわたり遊休農地を借受け、栽培面積を拡大し、収益 UP を図るとともに地域の活性化に貢献して「茶豆の枝豆」をあらたな鳥取のブランドにさせたいと考えています。

## 2. 現状と目標

### (1) 作付け (現状)

#### ☆中部地区(作付面積) 北栄町

単位 (ha)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
茶豆 (枝豆)								6.5	8.4
茶豆 (種子)								0.5	1.6
早生 (枝豆)			4.7	5.2	4.2	5.8	6.5	0.	0
丹波 (枝豆)			3.8	5.0	5.0	3.0	3.0	3.0	3.0
丹波 (種子)	7.0	8.2	1.2	0.5	0.3	1.0	1.0	1.0	0.6
合 計	7.0	8.2	9.7	10.7	9.5	9.8	10.5	11.0	13.6

#### ☆ 東部地区(作付面積)

単位 (ha)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
茶豆 (枝豆)									
茶豆 (種子)									
早生 (枝豆)									
丹波 (枝豆)									
丹波 (種子)					0.2	0.2	0.2	0.7	0.7
合 計					0.2	0.2	0.2	0.7	0.7

\*鳥獣被害により収穫なし。

#### ☆ 東部・中部合計(作付面積)

単位 (ha)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
茶豆 (枝豆)								6.5	8.4
茶豆 (種子)								0.5	1.6
早生 (枝豆)			4.7	5.2	4.2	5.8	6.5		
丹波 (枝豆)			3.8	5.0	5.0	3.0	3.0	3.0	3.0
丹波 (種子)	7.0	8.2	1.2	0.5	0.5	1.2	1.2	1.7	1.3
合 計	7.0	8.2	9.7	10.7	9.7	10.0	10.7	11.7	14.3

(2) 目標 (作付面積)

<平成 31 年度に作付面積 37ha を目指します。>

☆ 中部地区 (北栄町) (目標年)

単位(ha)	H27(現状)	H28	H29	H30	H31
茶豆 (枝豆)	8.4	13.0	14.0	15.0	15.0
茶豆 (種子)	1.6	1.0	1.0	1.0	1.0
丹波 (枝豆)	3.0	0	0	0	0
丹波 (種子)	0.6	1.0	1.0	1.0	1.0
合計	13.6	15.0	16.0	17.0	17.0

☆ 中部地区 (湯梨浜) (目標年)

単位(ha)	H27(現状)	H28	H29	H30	H31
茶豆 (枝豆)	0	5.0	7.5	10.0	10.0
茶豆 (種子)	0	0	0	0	0
丹波 (枝豆)	0	0	0	0	0
丹波 (種子)	0	0	0	0	0
合計	0	5.0	7.5	10.0	10.0

☆ 東部地区 (吉岡・鹿野・気高) (目標年)

単位(ha)	H27(現状)	H28	H29	H30	H31
茶豆 (枝豆)	0	0	0	0	0
茶豆 (種子)	0	0	0	0	0
丹波 (枝豆)	0	5.0	7.5	10.0	10.0
丹波 (種子)	0.7	0	0	0	0
合計	0	5.0	7.5	10.0	10.0

☆ 東部・中部合計 (目標年)

単位(ha)	H27(現状)	H28	H29	H30	H31
茶豆 (枝豆)	8.4	18.0	21.5	25.0	25.0
茶豆 (種子)	1.6	1.0	1.0	1.0	1.0
丹波 (枝豆)	3.0	5.0	7.5	10.0	10.0
丹波 (種子)	1.3	1.0	1.0	1.0	1.0
合計	14.3	25.0	31.0	37.0	37.0

(3) 目標 (出荷) <平成31年度に出荷量(枝豆)95tを目指します。>

茶豆(枝豆) 現状 165kg / 10a⇒目標 300kg / 10a

茶豆(種子) 現状 100kg / 10a⇒目標 120kg / 10a

丹波(枝豆) 現状 79kg / 10a⇒目標 200kg / 10a

丹波(種子) 現状 40kg / 10a⇒目標 100kg / 10a

☆ 中部地区(北栄町) (目標年)

(目標値) 160/80 200/120 250/160 300/200 300/200

単位 (kg)	H27(現状)	H28	H29	H30	H31
茶豆(枝豆)	13835	26000	35000	45000	45000
茶豆(種子)	(1600)	(1200)	(1200)	(1200)	(1200)
丹波(枝豆)	2376	0	0	0	0
丹波(種子)	(240)	(1000)	(1000)	(1000)	(1000)
合計	16211	26000	35000	45000	45000

☆ 中部地区(湯梨浜) (目標年)

単位 (kg)	H27(現状)	H28	H29	H30	H31
茶豆(枝豆)	0	10000	18750	30000	30000
茶豆(種子)	0	0	0	0	0
丹波(枝豆)	0	0	0	0	0
丹波(種子)	0	0	0	0	0
合計	0	10000	18750	30000	30000

☆ 東部地区 (目標年)

単位 (kg)	H27(現状)	H28	H29	H30	H31
茶豆(枝豆)	0	0	0	0	0
茶豆(種子)	0	0	0	0	0
丹波(枝豆)	0	6000	12000	20000	20000
丹波(種子)	0	0	0	0	0
合計	0	6000	12000	20000	20000

☆ 東部・中部合計 (目標年)

単位 (kg)	H27(現状)	H28	H29	H30	H31
茶豆(枝豆)	13835	36000	53750	75000	75000
茶豆(種子)	(1600)	(1200)	(1200)	(1200)	(1200)
丹波(枝豆)	2376	6000	12000	20000	20000
丹波(種子)	(240)	(1000)	(1000)	(1000)	(1000)
合計	16211	42000	65750	95000	95000

### 3. 目標達成のための課題と改善内容及び効果

平成 19 年度より農業事業へ参入し本年で 8 年目となりますが、作業機械の老朽化のため修理頻度が増えてきました。

中には修理部品の供給が止まった機械もあります。なんと言っても修理に時間をとられ収穫期に収穫、出荷できない事がダメージになっております。

あわせて事業展開して行く過程において、圃場面積、注文量が増えて行くにしたがい作業機械の能力を超えてしまい、供給が間に合わない状況です。

平成 27 年度よりホームページでの販売を予定しリニューアルしましたが、供給が間に合わないため稼働をストップさせていました。

早急に作業機械の見直し、導入が必要になっています。

来年度からは取引先が増えるため、さらに注文が増える事が予想されます。

東部地区での圃場の確保につきましては長年の懸案でしたが、平成 28 年度は新たに東部地区(吉岡・鹿野・気高)に 5.0ha を確保予定で、中部地区でも湯梨浜地区に 5.0ha、北栄町に 1.0ha の拡大を予定しています。

平成 31 年度には中部地区(北栄町 17ha、湯梨浜 10.0ha)東部地区(吉岡 5.0ha、鹿野 2.0ha、気高 3.0ha) 合わせて 37ha の経営面積となる予定です。

機械化を進める事により(機械損失・機会損失・無駄・ロス)を改善し、生産性、収益性をUPさせる事が出来ます。

さらにWEB上での展開とともに販路の拡大、遊休農地利用により地域の活性化、雇用の創出、商品の差別化により新たなブランド化を目指してまいります。

### 1) 作業機械の老朽化と処理能力限界。

#### ○課題

機械の老朽化、供給部品の終了、処理能力の限界。あわせて修理頻度、修理件数も増えてきており修理時間に追われ、収穫、出荷できない。注文数量の増加。

#### ○改善内容

#### ○効果

- ア・トラクター2台導入。 自社機になれば自社の都合で最適日に作業が行える。
- イ・自動選別枝豆検査装置導入 処理能力UP、現状1H = 40kg⇒150kg。4人⇒2人。
- ウ・ラジコン噴霧器導入。 処理能力UP、半径10m⇒15m・2人⇒1人。
- エ・播種機導入。 整地具合に左右されない為、播種率のUP 3人⇒2人。
- オ・除草剤散布機導入。 播種と同時に出来るため作業効率UP。2人⇒0人。
- カ・乗用型枝豆収穫機 処理能力UP 現状3台/1日=25a⇒1台/1日=40a。  
刈取4人+脱莢機6人=10人⇒2人
- キ・自動計量・袋詰機導入。 処理能力UP、現状1台/1H = 200袋 ⇒1200袋  
現状1台/1H = 36kg ⇒160kg

### 2) 品種毎により収穫時期の長期化

#### ○課題

現在は(茶豆2品種、丹波1品種)で栽培していますがもう少し収穫時期を長くしたい。収穫時、品種毎にタイムラグ(品種切替時の間隔ズレ)が発生している。

#### ○改善内容

時期に適した品種(早生・中生・晩生)の導入。播種時期の細かな調整により品種毎に発生しているタイムラグ(品種切替時の間隔ズレ)が開き過ぎないようにする。

#### ○効果

品種の見直しで収穫時期(7月末～10月25日 ⇒ 7月15日～10月末)へと改善、収穫期間(85日⇒110日)を見込める。さらに播種時期の改善により(タイムラグ)隙間なく収穫できる。

### 3) 圃場の確保

#### ○課題

現在は中部地区に(13.6ha) 東部地区に(0.7ha) 合計14.3haですが圃場の拡大を図る。

#### ○改善内容

28年度に東部(気高0.0ha・鹿野0.0ha 吉岡5.0ha)・中部(湯梨浜地区5.0ha)(北栄地区13.6haから15ha)確保する。H31年度には東部地区(吉岡5.0ha,鹿野2.0ha,気高3.0ha) 中部地区(北栄町17ha,湯梨浜10ha) 合計37haとする。

#### ○効果

圃場が増える事により収穫量、収益のUPが見込める。また遊休地を借受ける事により地域の活性化に貢献できる。

#### 4) WEBサイトの効果的・有効利用

##### ○課題

自社のHPもH27年度にリニューアルさせ販売できる状態ですが、生産不足により稼働を中止させていた。

##### ○改善内容

生産計画の見直しを行う。また「とっとり市」との展開を強化させ、自社での（受注、入金、発送）の取引マニュアル化を進める。

##### ○効果

一般固定客を増やす事により単価UPになり増収となる。  
B級商品の販売も見込める。

#### 5) 商品のブランド化

##### ○課題

自社の栽培商品をブランド化させる。

##### ○改善内容

一概にブランド化と言っても難しい所があります。まずは継続して安心、安全な商品を安定して供給出来る事が一番だと思います。消費者は生産者の情報を確認して安全な商品を購入したいと考えています。それには生産者の情報をアピールしてもらえ協力者が必要です（HP・とっとり市・取引先など）。昨年より当社の取引先である大阪の「■■■■■」様より逆に「鳥取の茶豆」をブランド化させようよと言っていただいております。それにはまず安心、安全、安定供給出来る事です。

##### ○効果

固定客、単価、利益、鳥取の知名度UPにつながります。

#### 6) 雇用の創出・地域の活性化

##### ○課題

高齢化、後継者不足により遊休農地、耕作放棄地が増えていますが、T P P参加により鳥取県でも対象品目の生産減少が見込まれ、さらに耕作放棄地の増加が予測される。

##### ○改善内容

行政、地域一体となって遊休農地、耕作放棄地を借受ける。

##### ○効果

遊休農地、耕作放棄地の解消となり雇用の創出（H28年から新規雇用2名の予定）、特産品(ブランド化)の栽培へとなりうる。



4・年間作業人員（東部・中部）

所 属	担 当	従 事	従事 日数 27年	従事 日数 28年	従事 日数 29年	従事 日数 30年	従事 日数 31年
東部 中部 兼務	役職者	業務 全般	(1人) 150日	(1人) 150日	(1人) 150日	(1人) 150日	(1人) 150日
東部 中部 兼務	社員 管理者	農業 作業 管理 全般	(1人) 265日	(1人) 265日	(1人) 265日	(1人) 265日	(1人) 265日
東部 中部 兼務	社員	農業 作業 全般	(3人) 265日	(5人) 265日	(5人) 265日	(5人) 265日	(5人) 265日
東部 中部 兼務	アル バイト	収穫 出荷 作業 全般	(15人) 67日	(11人) 110日	(11人) 110日	(10人) 110日	(10人) 110日
		計	2215 人役	2950 人役	2950 人役	2840 人役	2840 人役

\* 年間作業詳細、作業別詳細は別紙にて

年間作業工程一覧

	茶 豆	丹 波
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農機具メンテナンス</li> <li>・耕起、整地、選別</li> <li>・播種</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕起、整地</li> <li>・除草・機械メンテ</li> <li>・選別</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・播種</li> <li>・追肥、除草、カルチ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施肥、耕起、</li> <li>・選別、整地</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防虫 除草</li> <li>・播種、カルチ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・除草</li> <li>・選別</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫、出荷</li> <li>・防虫、除草</li> <li>・カルチ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・播種</li> <li>・カルチ</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫、出荷</li> <li>・防虫</li> <li>・カルチ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・除草</li> <li>・防虫</li> <li>・カルチ</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫、出荷</li> <li>・種豆の採取</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・除草、防虫</li> <li>・カルチ</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕起</li> <li>・種豆の採取</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫、出荷</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選別 ・脱粒</li> <li>・モア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫、出荷</li> <li>・耕起 ・モア</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選別</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・棚掛、出荷</li> <li>・脱粒、選別</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選別</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脱粒、選別</li> <li>・出荷</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械メンテ ・選別</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選別・機械メンテ、</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械メンテ</li> <li>・耕起 ・堆肥散布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選別・機械メンテ</li> <li>・堆肥散布</li> </ul>

5. 施設及び農業機械の所有状況

種別 NO	機械・装置名	メーカー	車体形式	導入 年度	備考	プラン後 状況
1	ハイクリカルチ 10PS	クボタ	X B 1-D	H23	自己資金	使用
2	トラクター 25PS	クボタ	L 1 -255	H27	経営改善	使用
3	カルチ	ニプロ		H19	自己資金	使用
4	噴霧器	マルヤマ	MS 5000	H20	自己資金	使用中止
5	枝豆洗浄機	ホクエツ	J S M1000E	H26	自己資金	使用
6	脱水機	マツモト	ME - 2	H27	経営改善	試用
7	枝豆拔取り機	ヤンマー	HE - 1	H26	自己資金	使用
7	枝豆拔取り機	ヤンマー	HE - 2	H27	自己資金	使用
8	草刈機	リョービ	E K R -2620	H26	自己資金	使用中止
8	草刈機	リョービ	E K R -2620	H27	自己資金	使用中止
8	草刈機	ECHO	E G T 260	H27	自己資金	使用中止
10	播種機	ごんべえ		H20	自己資金	使用中止
10	播種機	ごんべえ		H20	自己資金	使用中止
11	①脱莢機（車）	イセキ	H L 180	H26	自己資金	使用
11	①脱莢機（発電機）	ホンダ	E B R 2300 C X	H25	自己資金	使用
11	①脱莢機（脱莢機）	ミツワ	K X D - 1	H24	自己資金	使用
12	②脱莢機（車体）	ヤンマー	C A 200	H26	自己資金	使用
12	②脱莢機（発電機）	デンヨー	G R F - 5 F	H27	自己資金	使用
12	②脱莢機（脱莢機）	ミツワ	K X - H 3 v 2	H27	経営改善	使用
13	③脱莢機（車体）	イセキ	H L 125 - A W C D	H27	自己資金	使用中止
13	③脱莢機（発電機）	中華	M V G H 1302	H26	自己資金	使用中止
13	③脱莢機（脱莢機）	ミツワ	K X - 3	H25	自己資金	使用中止

種別 NO	機械・装置名	メーカー	車体形式	導入 年度	備考	プラン後 状況
14	ビーンハーベスタ	ヤンマー	YBR450	H24	自己資金	使用
14	ビーンスレッシャ	ヤンマー	PBTA1101DL	H19	自己資金	使用
15	冷蔵庫（1坪）	HITACHI	RU-R8HF	H26	自己資金	使用
15	冷蔵庫（2坪）	三菱	AFL-RP1.6B	H27	経営改善	使用
15	冷蔵庫（1坪）	サンヨー	PCU-T1010	H23	自己資金	使用
16	袋詰機（手動）	ミツワ	IB-2	H23	自己資金	使用中止
16	袋詰機（手動）	マツモト	IB-2	H26	自己資金	使用中止
16	袋詰機（手動）	ミツワ	IB-3v2	H24	自己資金	使用中止
16	袋詰機（手動）	ミツワ	IB-3v2	H27	経営改善	使用
17	梱包機		紙紐使用	H24	自己資金	使用
17	梱包機			H26	自己資金	使用中止
18	枝豆供給ホッパ	ミツワ	GSH-1	H27	経営改善	使用
18	枝豆供給ホッパ	ミツワ	GSH-1	H24	自己資金	使用
19	選別機（形状専用）	ミツワ	GS-4	H24	自己資金	使用
19	選別機（形状専用）	マツモト	GS-3	H25	自己資金	使用
20	選別コンベアー	ミツワ	DVUS-825L	H24	自己資金	使用
20	選別コンベアー	ミツワ	DVUS-940L	H24	自己資金	使用
20	選別コンベアー	ミツワ	GSC-05L	H27	経営改善	使用
21	ベルトコンベア	ミツワ	C-4	H24	自己資金	使用中止
21	ベルトコンベア		30X1800	H24	自己資金	使用中止
22	脱莢機（手差し型）	ミツワ	KE-5S	H23	自己資金	使用中止
22	脱莢機（手差し型）	ミツワ	KE-5S	H22	自己資金	使用中止
22	脱莢機（手差し型）	吉徳農機	ED400	H24	自己資金	使用中止
23	軽トラック	三菱		H25	自己資金	使用
23	軽トラック	スズキ		H24	自己資金	使用
23	軽トラック	スズキ		H27	自己資金	使用
24	冷蔵冷凍車（軽）	ダイハツ		H26	自己資金	使用
25	乗用車（軽）	スバル		H24	自己資金	使用
26	バン（普通）	ホンダ		H27	自己資金	使用

\*経営改善は商工会議所の設備投資支援補助事業です。

## 6.具体的な取組み内容

(単位:円)

項 目	H27	H28	H29	H30	H31	事業費	役割分担
栽培技術の向上	○	○	○	○	○		事業主体
圃場の確保	○	○	○	○	○		
WEBの活用	○	○	○	○	○		
取引先の開拓	○	○	○	○	○		
ブランド化推進	○	○	○	○	○		
1・ハイクリ(カルチ)12ps		◎				中古 420,000	鳥取県 鳥取市 事業主体  3は 事業主体
2・自動枝豆選別機		◎				新品 4,200,000	
3・草刈機 4台		○				新品 —	
4・播種機 2連		◎				新品 368,000	
5・乗用型枝豆収穫機		◎				新品 13,540,000	
6・除草剤散布機		◎				新品 291,000	
7・ブリッジ(道板)		◎				新品 295,900	
8・コンプレッサー5馬力		◎				新品 762,000	
9・トラクタ 45～53P			◎			中古 2,300,000	
10・トラクタ 45～53P			◎			中古 2,600,000	
11・ラジコン噴霧機			◎			新品 1,513,000	
12・溝堀機			◎			新品 630,000	
13・洗浄機			◎			新品 700,000	
14・脱水機			◎			新品 605,000	
15・ハイクリ(カルチ)12ps			◎			中古 420,000	
16・積載車 3.6 t			◎			中古 3,300,000	
17・サブソイラ 50ps 用			◎			新品 461,000	
18・フロントローダー			◎			新品 524,500	
19・モア 50ps 用			◎			新品 860,000	
20・自動計量袋詰機				◎		新品 14,910,000	
21・鶏糞散布機				◎		新品 630,000	
						合計 49,330,400	

◎：鳥取県、鳥取市の支援の必要なもの(がんばる農家プラン支援事業)

○：事業主体の活動(補助なし) \*：事業費は税別額で単位は円

7.機械毎の導入年度・使用場所・面積・処理能力

項 目	導入年度			使用場所		使用面積	処理能力
	H28	H29	H30	東部	中部	(目標年)	(1h)
1・ハイクリ(カルチ)	◎			○	○	37ha	0.32ha
2・自動枝豆選別機	◎				○	37ha	150kg
3・草刈機 4台	○			○	○	37ha	0.2ha
4・播種機 2連	◎			○	○	37ha	0.25ha
5・乗用型枝豆収穫機	◎			○	○	37ha	0.33ha
6・除草剤散布機	◎			○	○	37ha	0.25ha
7・ブリッジ(道板)	◎			○	○		
8・コンプレッサー5馬力	◎				○		
9・トラクタ 50P		◎		○	○	37ha	0.2ha
10・トラクタ 50P		◎		○	○	37ha	0.2ha
11・ラジコン噴霧機		◎		○	○	37ha	0.7ha
12・溝堀機		◎		○	○	20ha	0.2ha
13・洗浄機		◎			○	37ha	150kg
14・脱水機		◎			○	37ha	200kg
15・ハイクリ(カルチ)		◎		○	○	37ha	0.32ha
16・積載車 3.5 t		◎		○	○		
17・サブソイラ 50ps 用		◎		○	○	37ha	0.25ha
18・フロントローダー		◎		○	○		
19・モア 50ps 用		◎		○	○	45ha	0.5ha
20・自動計量袋詰機			◎		○		160kg
21・鶏糞散布機			◎	○	○	37ha	0.5ha

※導入年度欄の◎は鳥取県、鳥取市の支援の必要なもの(がんばる農家プラン支援事業)

○は事業主体による導入(補助なし)